

基本コンセプトは火山と共生する人づくりです。

20～30年周期で噴火する有珠山のある西胆振は、火山との共生が大きなテーマです。しかし、2000年噴火から7年が経過し、当時の記憶に風化の兆しも見られます。そこで、有珠火山の正確な知識を有する者に「**火山マイスター**」という「**地域限定の称号**」を与え、次の噴火に備えた地域防災のリーダーとして育成し地域防災力の向上を図るとともに、平時においては貴重な地域資源である有珠火山での質の高い火山ガイドなど、特色ある観光地づくりにも活かしていきます。

火山マイスターとは、**有珠火山や地域の自然について正しく理解**し、この地域と火山の共生についての**理想や考えを自ら持って**、**次なる噴火に備えた地域防災のリーダー**となりうる者です。

地域のリーダーである火山マイスターは、常に知識や技術を高めようとする**向上心**や、自然に対する感謝の気持ち、地域に貢献しようとする**熱意**を持ち、**豊富な経験や体験**に基づいて適切に、そして、**誇りを持って活動**することが期待されます。

胆振支庁「いぶり火山マイスター育成事業」の**取り組みの柱は次の3つ**です。

1 火山マイスターへのレベルアップをサポートする

1. 養成講座の実施

- (1) 有珠火山に関する専門的知識
- (2) 野外活動の基礎知識
- (3) フィールド実践講座

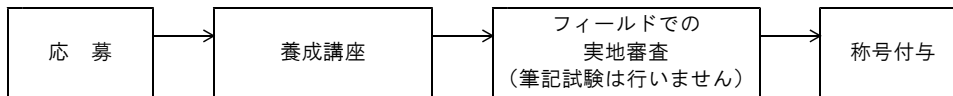
2. 実施方法

検討委員会が主催する養成講座のほか、地域の関係団体などが実施する講習会や学習会などとのタイアップを検討する。

2 火山マイスターを認定する

1. 火山マイスターになるためには

火山マイスターに応募し、指定する養成講座を履修した後、フィールドなどで行う面接審査を受け、火山マイスターとしてふさわしいと認められた者に称号を付与します。



*養成講座、面接審査、称号付与については、当面、いぶり火山マイスター検討委員会が行います。

2. 火山マイスターの活躍イメージ

- (1) 有珠火山の防災活動のリーダー
- (2) 質の高い火山ガイド

3 火山マイスターが活動する環境を整える

1. 地域の防災教育・啓発活動との連携

- ・地域住民に対する火山防災教育での火山マイスター活用の仕組みづくりなど

2. 有珠火山防災会議協議会との連携

- ・立ち入り禁止区域への立ち入りに係る地元合意やルールづくり

3. エコミュージアム推進協議会との連携

- ・火山の恵みエリアでの協働

4. 火山マイスターについて知ってもらう

- ・火山マイスターの特性や活動内容をPR（観光振興につなげる）
- ・地域の活動と火山マイスターのマッチング

検討委員会の役割は、**持続する仕組みづくり**です。

火山マイスターの（養成→認定→活動）というサイクルが、この地域で自立的に持続していける仕組みを火山マイスター検討委員会での議論によって創っていきます。